



AJAJ  
Association of Jungian Analysts, Japan

一般社団法人 日本ユング派分析家協会 (AJAJ) 主催

## 2018年度 第7回 日本ユング心理学研究所 研修会のご案内

日時： 2019年3月3日(日) 12:00~16:45

会場： 京都アスニー (京都市中京区聚楽廻松下町9-2)

### ご挨拶

私ども AJAJ の研修会も今年で7回目を迎えることとなりました。

今年の全体講演は、豊田園子先生が「わたしのユング心理学—女性の視点から—」と題してお話しくださいます。ご講演の概要にもあるとおり、「ひとはそれぞれにユング心理学との出会いをしている」のに違いありません。今回、ご講演を通じ、先生とユング心理学との出会いについて、またその中で先生が感じ、考えてこられたことについて伺いする中で、皆様方おひとりおひとりが、それぞれにとってのユング心理学について思いを巡らし、深め、さらに日々取り組んでおられる臨床について考える機会となりましたら幸いです。

全体講演に引き続く分科会は、分科会4つ、基礎コース1つの5コースの構成となっています。ユング心理学を基礎から学んでみたいとお考えの方も、更に深めたいとお考えの方も、それぞれの学びの場として、是非奮ってご参加ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2019年1月吉日

一般社団法人 日本ユング派分析家協会 (AJAJ)  
会長 横山 博

**研修ポイント：** 全体講演と分科会の両方に参加された場合、日本臨床心理士資格認定協会の臨床心理士教育・研修規定別項第2条(4)により、一般参加2ポイント、事例発表者4ポイントの取得となります。

## <開催要領>

1. 定員： 180名（定員に達し次第、受付締切）

2. 参加資格： 以下いずれかの条件を満たす方

- ① 日本ユング心理学研究所の登録会員・聴講生・候補生
- ② 心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③ 臨床心理学を専攻する大学院生

3. 参加費（8%消費税込み）

- ①一般：¥6,480・ ②登録会員：¥5,400・ ③聴講生・候補生：¥4,320・

\*②③は、それぞれ日本ユング心理学研究所の登録会員・聴講生・候補生で、それ以外は①一般となります。

4. 研修内容：

(1) 全体講演： 時間 12:00~13:30（受付は11:30より）

会場 京都アスニー（3階）第8研修室

テーマ：「わたしのユング心理学—女性の視点から—」

講師： 豊田 園子（豊田分析プラクシス）

概要： ひとそれぞれにユング心理学との出会いをしているのだろう。自らの内にアニマという女性なるものを見出したユングは、女性というものに真剣に向き合い、女性を理解しようとした。そのあたりが、生きた人間としてのユング自身がそうであったように、ユングの考えも多くの女性を惹きつけることになったのだと思われる。ただユングの女性理解については、男性としての限界もあったのではないだろうか。ユング心理学を学ぶということは、自分らしくなっていくということであるとすれば、女性が自分らしくなっていくとはどういうことなのか。ユング心理学との出会いから、女性として感じてきたこと、考えてきたことを述べてみたい。また、今の世界にユング心理学が果たす役割についても、女性的視点から考えてみたい。

(2) 分科会／基礎コース： 時間 13:45~16:45

各分科会／基礎コースの会場につきましては、当日、全体講演の受付にてご案内させていただきます。

以下の5グループ（分科会4・基礎コース1）に分かれて行います。

\*事例提供ご希望の方は、お申込の際、その旨と事例概要（100字程度）をお書き添えください。

【第1分科会】 河合 俊雄（京都大学こころの未来研究センター）

「ユング派のプレイセラピー」

ユング自身にプレイセラピーの経験はなく、またプレイセラピストの訓練に関して国際分析心理学会は積極的ではない。しかしエヴァ・パティス著『危機介入の箱庭』に見られるように、イメージを扱うユング派心理療法は実はプレイセラピーに近いと言える。アックスライン、精神分析とユング派のプレイセラピーはどう異なるのかを解説しつつ、ユング派プレイセラピーの可能性を探りたい。

\*事例を募集します。

## 【第2分科会】 田中 康裕（京都大学）

### 「『発達スペクトラム』の心理療法 —ユング派的アプローチはなぜ奏功するのか？」

統合失調症やパーソナリティ障害と同様、今日、「発達障害」は軽症化し、われわれ心理療法家がいわゆる典型例に出会う機会が減ってきている。しかし、この軽症化は、その心理療法を易しくしたわけではなく、「自閉症スペクトラム」ならぬ、より広く「発達スペクトラム」を念頭に置かなければ、立ちゆかない事例の増加に寄与しているように思われる。この分科会では、「発達スペクトラム」とは何か、そのような事例にユング派的アプローチがなぜ奏功するのかについて考えてみたい。

\* 「発達障害」を疑われた事例を募集します。

## 【第3分科会】 深津 尚史（医療法人同心会 杉田病院）

### 「ユングの分身モチーフ vs ラカンの鏡像段階 —自己像幻視からとらえなおす—」

自己像幻視の物語や具体例を提示し、ラカンの鏡像段階をユングの分身モチーフと対比したい。他人からの視線を鏡のような媒介として、私は「自分では見ることのできない私」を「見られる私」として認識するといえる。そのため、ラカンの鏡像段階は、心の理論や投影同一化と関係すると予想できる。そして、これらの現象は、ユング心理学の分身モチーフに対応すると演者は考える。興味深いことに、ラカンのシェーマLは、ユングの『転移の心理学』が記す錬金術の四者性の図式とほぼ一致している。

## 【第4分科会】 前田 正（常葉大学大学院）

### 「統合失調症の心理療法」

2018年3月のスイス ISAP (International School of Analytical Psychology) の2日間の集中講義で話したエッセンスを基に、統合失調症に関する最新の精神医学の動向、分析心理学的理解、ユング派心理療法、東洋的視点からの展開について説明する。当日は、自身の事例も含め、多くの事例とその心理療法についても紹介し、検討してゆく。

## 【基礎コース-1】 田熊 友紀子（代官山心理・分析オフィス）

### 「『影の現象学』を読む —C.G.Jung の”影”と現代の心理療法に現れる影—」

影とは、その人が生きられなかった反面であり、影を通じてこそ人生の意味を深めることができる、ユング心理学の重要な概念の一つであるが、実は複雑でわかりにくい。しかも、主体のなさ・弱さがしばしば指摘される現代の意識性に現れる影は、以前とは異なる様相を示してきているように思われる。ここでは、河合隼雄の『影の現象学』から影の問題を改めて考えた上で、現代的な影の問題についても、講師の事例をもとに考えてみたい。

文献：河合隼雄『影の現象学』（講談社学術文庫）

## 5. 参加お申込について

お申込の方は、件名を「AJAJ 第7回研修会申込」とし、以下の内容を明記のうえ、メールまたは FAXにてお申し込みください。

※ **記入事項**： 1) 参加ご希望の分科会または基礎コース

2) 参加されるご本人の氏名・ご連絡先

A) **一般の方**：①氏名（フリガナ） ②住所 ③返信用のご連絡先（メールアドレス/FAX）  
④所属 ⑤職業／専攻

\* 臨床心理士の方は、臨床心理士番号もお書き添えください。

B) **登録会員**：①氏名 ②登録会員番号 ③返信用のご連絡先（メールアドレス/FAX/住所）

3) 事例提供ご希望の方は、その旨と事例概要（100字程度）をお書き添えください。

※ **宛 先**： 一般社団法人 日本ユング派分析家協会（AJAJ）事務局

e-mail： infoajaj@circus.ocn.ne.jp

FAX： 075-253-6560

※ **申込締切**：2019年1月27日（日）

## 6. 参加可否について

・申込締切後の2月初～中旬頃に、お書き頂いたご連絡先に通知を差し上げます。

\*お申込み受付は原則として先着順とさせていただきますが、希望者多数の場合には参加頂けない場合がありますので、予めご了承ください。

・参加証等は発行いたしません。

・申込者本人のみご参加可能です。

## 7. 参加費のお振込について

参加頂ける方につきましては、2019年2月21日（木）までに、下記口座までお振り込みください。

**振込先： 三井住友銀行 京都支店 普通 7908843  
一般社団法人 日本ユング派分析家協会**

\*振込明細は領収書代わりになりますので、必ず保管し、当日ご持参ください。

\*お振込みは、必ず本人のお名前でお願います。（異なる場合は、事前にご連絡ください）

\*納入された参加費はご返金できませんので、予めご了承ください。

## 8. お問い合わせ先

一般社団法人 日本ユング派分析家協会（AJAJ）事務局

住 所： 〒604-8126 京都市中京区高倉通蛸薬師下る貝屋町 558 澤田ビル 2階 201号

FAX： 075-253-6560

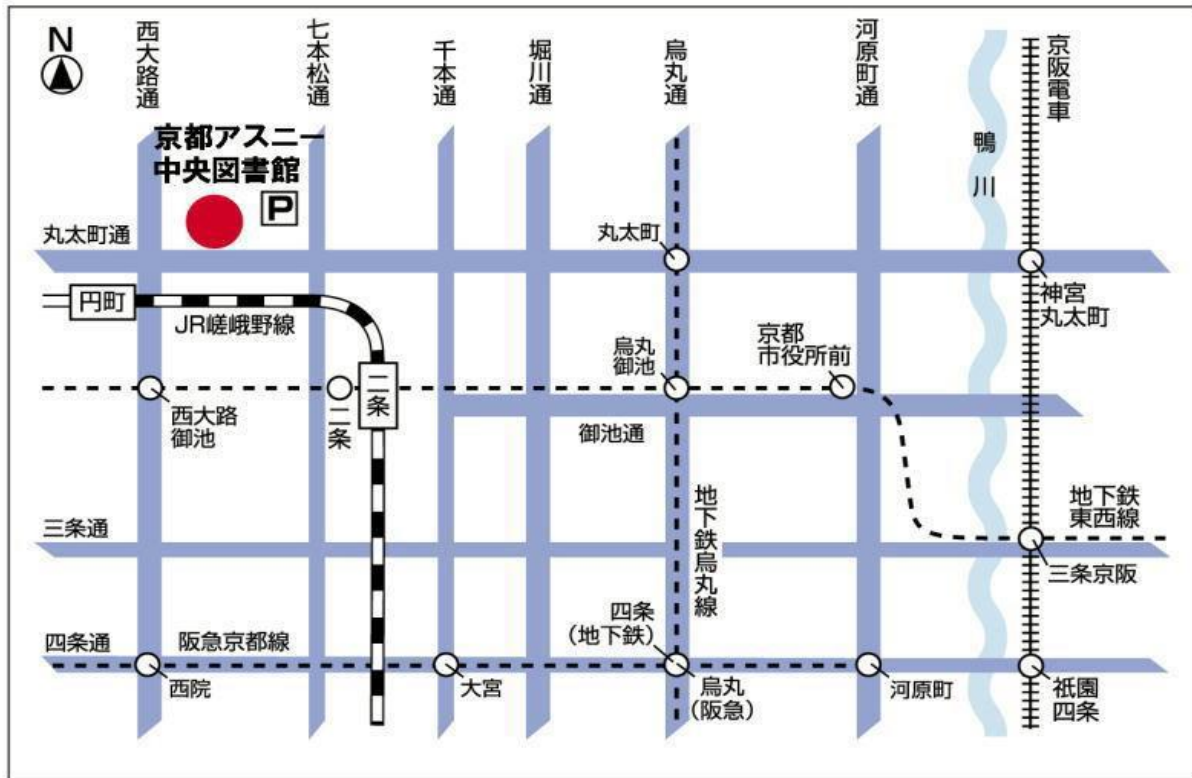
e-mail： infoajaj@circus.ocn.ne.jp

## 9. 会場について

京都アスニー

\*別紙地図をご参照ください

京都アスニー (京都市中京区聚楽廻松下町 9-2)



- JR・近鉄京都駅から  
市バス206/約22分→千本丸太町下車西へ徒歩400m  
JRバス/約20分→丸太町七本松下車
- JR・地下鉄二条駅から  
市バス15/約5分→丸太町七本松下車  
京都バス61・62・63・65/約5分→丸太町七本松下車  
JRバス/約5分→丸太町七本松下車
- 阪急大宮駅から  
市バス6・46・55・201・206/約8分→千本丸太町下車西へ徒歩400m  
JRバス/約10分→丸太町七本松下車
- 阪急西院駅から  
市バス202/約10分→丸太町七本松下車
- 地下鉄丸太町駅から  
市バス93・202・204/約10分→丸太町七本松下車
- 京阪三条駅から  
市バス15/約20分→丸太町七本松下車  
京都バス61・62・63・65/約20分→丸太町七本松下車
- 京阪神宮丸太町駅から  
市バス93・202・204/約15分→丸太町七本松下車
- JR円町駅から  
市バス15・93・202・204/約3分→丸太町七本松下車  
京都バス61・62・63・65/約3分→丸太町七本松下車  
JRバス/約3分→丸太町七本松下車
- 駐車場 施設利用者 30分までごとに100円  
(※1階事務所に駐車券をご持参のうえ、館内利用手続きを行ってください)